

医療労働環境を支援

下京府改善センター開設

看護師などの医療従事者が働き続けられる環境整



京都府医療勤務環境改善支援センターの看板を設置する京都私立病院協会の清水会長(右)ら。京都市下京区・COCCON烏丸

備を支援する「京都府医療勤務環境改善センター」が京都市下京区の商業施設・COCCON烏丸に設置され、29日開所式が開かれた。病院の事務責任者を経験したスタッフらを配置し、府内の医療機関から寄せられた相談に対し、助言を行う。

府によると、看護師の離職率は他職種と比べ高く、人材確保や医師の地域偏在解消のため、時間外労働の軽減やメンタルヘルス対策、育児支援など勤務環境の改善が求められている。センターは国が都道府県ごとに設置を求めており、運

営は京都私立病院協会が担う。

センターには、病院事務長などを経験した「勤務環境改善推進員」と社会保険労務士を配置。相談があった医療機関を訪問するなどし、情報提供や研修会を通じて改善をサポートする。

同協会の清水鴻一郎会長は「命に携わる医療現場の仕事はストレスがたまりやすく、心身ともに健康に働けるよう支援していきたい。個別で対応が難しい課題も、各病院の取り組みを共有すれば解決できる」と話した。

受け付けは年末年始を除く月曜～金曜の午前9時～午後5時。問い合わせは同センター(075)354-8844。

(笹井勇佑)